

中村彝アトリエ紹介

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校

美術部制作



中村彝は水戸市生まれの洋画家です。
茨城県近代美術館には、中村彝が大正5年(29歳
の時)に新宿に建て、以後死ぬまでそこで暮らし、作
品を制作したアトリエの新築復元があります。

アトリエ内には中村彝が実際に使い、彼の
作品の中にも登場するイスやベッドが置かれてあり、
「大抵の画家 中村彝」のDVD上映を行って
います。

また、アトリエの外はたくさんの自然に囲まれ、
春には桜、夏にはアジサイの花を楽しめるほか、
ゆっくりとくつろげるベンチも設置されています。